

一 般 質 問 通 告 表

令和6年第4回始良市議会定例会（11月28日）

1. 和田 里志	1. 働き方改革と業務の効率化について	この夏、日本では異常気象、海外では極端気象と呼ばれ、人間生活や生態系に甚大な被害をもたらす気象が世界的に頻発した。山梨県の甲府地方気象台は11月7日、富士山の初冠雪を発表したが、観測以来130年ぶりという最も遅い記録だそうである。また線状降水帯の発生による大雨の被害や季節外れの高温などはとどまるところを知らない。 そこで、働きやすい職場環境や業務の効率化を推進することで、市民サービスの向上に繋げることを目的に職員の通年輕装化を実施する考えはないか問う。	市 長 教育長
	2. 高齢者支援の充実について	2023年10月1日時点で、日本の総人口に占める65歳以上の人口は3,624万人で、高齢化率は29.0%と過去最高水準に達しており、約30年後の2055年には37.6%に達することが予測されている。高齢者が安心して暮らす上で、自治体の支援制度は心強い存在で、各自治体では医療、介護など日々の生活に必要な不可欠なサービスを充実させるだけでなく、高齢者が自立した生活を続けられるような様々な支援制度を整備しているが、他市の事例等を参考に、以下について本市の考え方を問う。 (1) 補聴器の購入費用の一部を助成 (2) 在宅の要介護者を日常的に介護している家族に対して、「介護慰労金」を支給 (3) 高齢者の孤立防止を目的として、三世代家族の同居や、近居に必要な費用の一部を助成 (4) 高齢化社会に対応した廃棄物処理体制（ゴミ出し支援）の整備	市 長 教育長

	3. 衆議院選挙の総括と課題について	(5) 高齢者のデジタル・ディバイド問題への対応 (6) スマートフォンの貸出しや購入費用の助成 (7) 温泉保養券や健康チケットあいあい等の申請や交付方法の見直し (8) 高齢者の一人暮らしの方にボランティアの方が週1回電話をして、安否確認や話し相手をする「電話訪問」 (9) 始良高齢者福祉センターの開館時間の見直し（特に浴場） 令和6年10月27日執行された、衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査について、本市での投票状況や課題について以下を問う。 (1) 各地区の投票率は、どうであったか。 (2) 不在者投票、期日前投票、投票日の投開票は問題なく行われたか。 (3) 巡回式「移動期日前投票所」の開設は、想定通り機能したか、またその投票者数を問う。 (4) 選挙全般について、今後の課題は何か。	選挙管理委員会委員長
2. 森川 和美	1. 自治会が管理運営する共同墓地について	(1) 市内に何か所あるか。 (2) 市として何か支援しているか。 (3) 組合同規約を制定して墓地の管理、運営に努めている組合の年会費も500円から1,000円程度である。 市営墓地を建設するまでもないが、これらの墓地は公共性が高い組合組織団体であると思うが、市としてどのような見解を持っているか。 (4) これらの共同墓地組合に対する負担の軽減、支援、助成等は考えないか。	市 長

	2. 本市の子育て基本条例について	平成25年に制定された本市の子育て基本条例の成果と課題についての見解を問う。	市長 教育長
	3. 旧始良町の歴史的な石碑撤去・移設について	昭和30年1月1日に山田村、重富村、帖佐町が合併して始良町となった。多額の赤字財政を抱えての合併であったが、この財政難を救ったのが重富村官行造林100余ヘクタールであった。 初代町長水流清高氏は、この偉業を後世に継承するため、顕彰碑を旧始良町庁舎玄関脇に建立された。しかし、今は撤去されて重富出張所の入口脇にある。始良町の歴史を葬ることにならないか。 また、当時の町長等や関係者の心情を思えば誠に忍び難いものがある。どのような経緯、根拠で移設したのか。元に復することはできないか。	市長
	4. 過去に質問したドッグラン、スケートボードパーク、高校生への定期代補助について	ドッグラン、スケートボードパーク建設、高校生への定期代補助について質問、提案したがいずれも調査研究するとのことであったが、どのように検討したか。 ドッグラン、スケートボードパークは、現在本市の市民ニーズはかなり高いと感じている。 また、高校生への定期代補助は、全国的に広がりつつある。 高校生にはあまり光が当たらない現状及び子育て世帯の負担軽減になるが、見解を問う。	市長 教育長